

大会宣言

大会テーマ：開山1300年を迎えた大山の麓で、教育の未来を語ろう！

大会宣言：

第38回兵庫教育大学大学院同窓会総会の本大会において、本学の建学の精神に基づき、日本の教育に資すべき使命と誇りの自覚を確認し、以下の大会宣言をする。

現代社会はグローバル化し、政治・経済など国際情勢の影響を直接受けている。これらは人々の生活様式を変え、社会の変化はますます価値観の多様化と個性の伸長化を促進している。

この状況の中、学校教育は「外部から行われる改善策を待つのではなく、自ら学校を変えていく方策の発想と実行」が必須の条件となっている。

よってこれを旨に、本会でのさらなる振興を図るべく、昨年度と同様の以下3つの指針を、共通理解し共通行動をする。

- 一、常に会員は、教師教育のトップランナーであるという自信と誇りをもち、自ら学び、自らづくり、自ら身につける「学心研道」を生きる。
- 一、常に会員は、未来の主権者たちが主体的・協働的に自らの資質・能力を伸ばす教育を探求する。
- 一、常に会員は、母校である兵庫教育大学の充実・発展を願い、積極的に貢献する。

以上をもって、兵庫教育大学、そして、本同窓会のますますの弥栄を祈念して大会宣言とする。

平成30年8月4日

第38回兵庫教育大学大学院同窓会総会

※「学心研道」：兵庫教育大学第2代学長上寺久雄先生が本学の根本理念にしたいと願って大学構内の石碑に刻み込まれた言葉。（上寺久雄第2代学長は5月19日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。）

「学ぼうとする意欲をもって、どこまでも真理を究明し、教育の道が見えてくるならば道を探し求め、道が見えなければ道をつくって進む。」という意味。